

質問4 所属する学会について <複数回答可> (その他)

その他記述	件数
酵母遺伝学フォーラム	2
日本化学会	2
日本獣医学会	2
日本農芸化学会	2
日本繁殖生物学会	2
がん転移学会	1
細菌学会	1
日本RNA学会	1
日本ウイルス学会	1
日本エピジェネティクス研究会	1
日本寄生虫学会	1
日本血栓止血学会、日本検査血液学会	1
日本蚕糸学会 Society for Invertebrate Pathology	1
日本時間生物学会	1
日本獣医学会 日本繁殖生物学会	1
日本植物学会	1
日本神経学会、日本cell death学会、日本神経病理学会	1
日本糖質学会	1
日本動物学会、日本RNA学会	1
日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会	1
日本農芸化学会酵母遺伝学フォーラム	1
日本放射線影響学会	1
日本薬学会	1
日本薬理学会	1
日本臨床細胞学会	1
農芸化学会	1

質問5. プログラム集冊子のA5判形態について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	アプリで十分だったので、輸送費の削減のために冊子はいらないと思います。
※	演題やポスター発表全部載せるのは大変だと思いますが、冊子でもある程度要旨が書かれているのもっと良いと思います。
※	冊子版は重いため使用しませんでした。
※	白紙のページを増やして欲しい(メモ用)
※	日にちごとに冊子を分けると軽量化が図られるかもしれない
※	個人的に、聞いたことをプログラム冊子にメモするので、メモのページがもっとあったらいいと思いました。
※	持ち歩きにはA5が良いですが、A4の方が本棚にしまいやすいです。

質問6. ITシステムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	一部、人の名前を入れても検索に引っかからなかったように思えた。使い方の問題かもしれませんが
※	もう少しSNS機能は簡単にしてほしかった。
※	要旨やマイルスケジュールをPDF化できる機能が素晴らしいと思った。
※	大会前後にディスカッションのやり取りなどできると面白く、今後の学会年会のあり方にも関わるかもしれない。
※	シンポジウム内の内分けされたその日の一覧のページがほしかった。アプリをとらずともwebで見ることも可能にしてほしい(携帯)
※	SNS機能をより活発に利用するための仕掛けがほしい

質問7. 会期中に使用された主なITシステムについて（その他）

回答者 番号	その他記述
	記述なし

質問8. シンポジウムと特別講演について <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	言い方は違うが、結局同じような内容のシンポジウムが多かった。シンポジウムは乱立させればよいというものではないと思う。
※	テーマが少し細分化しすぎており、口頭発表を希望する際にどこに申し込んでいいのかわからず、困惑することがあった。
※	テーマは適切であるが、類似したテーマの時間が重なっていて残念だった。

質問8. シンポジウムと特別講演について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	テーマは十分だが、もう少し会場が広いほうが良い。立ち見の人間が多すぎたと思う。

質問9. シンポジウムの使用言語について（その他）

回答者 番号	その他記述
※	緩やかな国際化は理解できるが、“日本の”学会であるのだから日本語をもっと推してよい。国際化は国際シンポジウムで行うべきで、住み分けは必要だと考える。
※	日本語でディスカッションが会った場合、そのディスカッションの内容を誰かが英語で繰り返すような流れがあると良いかと思えます
※	日本語を制限すべきでないと思う。勿論英語で行われるのは歓迎されるべきだが、日本人通して英語以外話せない雰囲気を作る意味がわからなかった。国際学会でもないのに、建設的な状況ではないと思う。
※	「質疑応答日本語も可」のアナウンスが議長からあるとよりよかったと思う。
※	日本の学会なら日本語が良いのではないかと思う。
※	一貫して英語のセッションがあり議論も活発に行われている一方で、日本語のわからない外国人の聴衆がそれなりにいるセッションでも、彼らを見捨てる形で座長自ら日本語で質問するなどしており不自然・失礼に感じた。中途半端なので、それならば日本語指定などにしてしまえば良いのと思った。
※	国内学会で英語セッションを設ける必要はあまり感じられない質疑応答は日本語でも可といわれても日本語で聞けるような雰囲気にはならない
※	質疑応答を日本語でやっていたところは、活発な議論がありました。また、専門が違って英語でよくわからなかった部分も、日本語の質疑応答で理解できた部分がありました。

質問10. 一般演題について <複数回答可>(その他)

回答者 番号	その他記述
※	座長システムにより同じ日の他の演者の話が聞きにくかった。
※	ポスターセッションの日程説明が分かりづらく、当日の計画をたてる時苦労しました。分かりやすくしてください。
※	発表の担当者になると、他のポスターやブースを見に行くタイミングを逃してしまう。「自由討論」とあるので、この時間に見に行けば良いのかもしれないが、ポスターを離れることに罪悪感を感じるため、「自由時間」のようにしていただけるとありがたいと思った。

質問11. 座長制について <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	座長によって差が大きすぎるように感じた。座長一人でいつの間にか回っている人もいれば、必ず聴衆を引き連れて座長をしている人もいた。座長内でのルールをもう少し統一してほしい。
※	座長制はそこまでおおきく機能していなかったです。全時程自由討論という形式に実質上なっていたと思います。
※	自由討論の時間を短くすることにより、コアタイムの発表時間(4分)をもう少し長くして欲しい。
※	自分が参加したセッションではあまり機能していなかったように感じた。
※	座長制という制度自体は素晴らしいと思う。利き手側としてもポスターセッションの短い時間の中でも聞きたい演題はたくさんあるので、時間を区切って発表の時間を設けることで時間効率が非常によくなったと感じた。特に、内容の似た演題が近くに配置されていることでさらにこの制度の利点が引き立った。一方で、自由討論時間の間に挟んだことで、自由討論から引き続いてディスカッションを行っているポスターは中断するか飛ばす必要があり、口頭発表のようにスムーズには行えていなかったという点で、改善の余地はあると思う。
※	座長制の導入自体は良かったと思うが、今回同様に自由討論の時間も確保して欲しい。また、座長を中心とした発表の開始がグループごとにバラついたために動きにくく感じるがあったので、自由討論の間に挟み込むのではなく最初に行うことを考えても良いのではと感じた。
※	座長が時間に縛られていたため、別の人と話していても一度中断して座長に説明をしなければならず、途中で止めてしまった人には申し訳なかった。
※	座長が時間内に回って来ず非常に不満だった。誰が座長であるのかと分かりやすいようにして欲しい(顔写真や帽子、ワッペン等)。
※	座長にお越しいただいたタイミングが、ちょうど参加者に説明しているタイミングと重なり、非常に間が悪かった。その場では説明中の参加者にご了承頂いて、最初から説明をやり直したが水を差された感は否めず、座長の先生も非常に申し訳なさそうで、結局全員が不幸になったように思えてならなかった。設定されていた説明4分・質疑3分なども管理されず(できず)、非常に非効率であったし、導入するならば付け焼刃的な対応ではなく、より工夫が必要と感じた。座長とコミュニケーションが全くと言っていいほど取れなかった点からも、今回の座長制に全く意義を見出せなかった。
※	座長ごとにやる気の差があって、活発なところとそうでないところの差が激しかった。
※	座長による進行のはっきりとした区切り目がわからなかった。
※	座長により進行の仕方や時間の厳密にばらつきがあり、座長自身もよく把握していないところもあったようだった。座長制度を続けるなら、基本的な進行はあらかじめしっかり決めた方がよいと思った。また、奇数偶数の発表時間が分かれていなかったのも、スペース的に窮屈だった。分かれていた方が、発表者が他の発表をみる時間もあり、発表自体もやりやすいと思う。
※	座長が一人でささっと巡回するだけなのでディスカッションに深みがなかった
※	座長への説明が最優先となっており、説明を聞いているひとがいても、すべて中止させられてしまい残念だった。せめて融通を利かせてひとのいないポスターから回るなどして欲しかった。座長からの質問もほとんどなかった。
※	Late-Breaking Abstractにも座長制を導入してほしい
※	やるのであれば、半端なものではなく、もう少ししっかりとした形式にのっとって行うべきだと感じた。今回の座長制では、ただ発表を聞きに来た方々との違いが見られず、やる意味に疑問を感じた。また、座長さんが聞いている間は、他の人の自由な討論の場がなくなっているため、やるのであれば、制度をもう少し整えるべきだと感じた。さらに言えば、発表者も動きにくく、これまでと比べるとやりづらかった。
※	決められた時間内に座長が回ってこなかった。また、座長の興味によって、長く議論するポスターもあれば、早く終わらせようとするポスターもあったと思う。座長という立場を引き受けている以上、すべてのポスターを公平に扱うべきだと思う。
※	どこで発表してるか人が多すぎてわからない。声も聞こえないので携帯型マイクを使用した方が良いのでは？
※	座長制がうまく発表者、座長ともに理解が行き届いていない様子のセッションもあり、今後も続ける場合改善が必要と感じました。
※	結局座長が"優秀ポスターの審査員"として聞きに来るだけで、特に活発な議論がなされるきっかけにはならなかったと思う。

質問12. ポスター発表について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	優秀ポスター賞システムは良いが、結局少し専門が変わると理解できなかつたりするので座長1人が判断するのは難しいかもしれない。むしろ、参加者全員に一票持たせて要旨を見て一票を投じてもらい上位数十人だけにしぼり複数の座長が数人の優秀ポスター賞を決めるなどアプリの機能を使えばある意味全体から選ばれる感じになり、要旨の内容はすごそうでも実際の発表がダメなら座長が判断できるのでそのような感じにすれば座長の負担も減らして公平性もますのではないかと思います。
※	日本語表記、顔写真無しというポスターが非常に多くデザインのバラつきが大きかった。ポスター発表の形式は推奨よりも規定にするべきである。推奨設定がポスター発表の評価に影響が出るのか否かはっきり明記するべきである。
※	ポスター賞:座長推薦が基準の場合、上述した「座長制」への不満から、価値的とは感じられない。安易な設定は学会の価値を下げるように感じます。写真:発表者が分かりやすくなったとは全く思えず、むしろ印象は良くなかったミキサー:約3時間話し続けた(コアタイム前からポスター前で説明を開始していたため)発表者としては、今回のような参加者向けの配布に加えて、発表者全員にも(ノンアルで)ワンドリンクほどこいだけたら非常に助かりました…。
※	一般演題からの口頭発表採択が実質なかった分、ポスター賞の設置は学生や若手にとってやる気になったと思うが、やるなら評価ポイントをしっかり決め、複数の審査員による審査を設けるべきと思う。
※	分野分けがもう少しわかりやすいと良い
※	Late-Breaking Abstractにも優秀ポスター賞を設けてほしい
※	一部、ポスター掲示の場所がとても分かりずらく、暗いところがあった。しかもその掲示の列の反対側は何も掲示がないというわけがわからないものであったのが大不満です。その空いたところに掲示させてくれてよかったのではないですか？
※	優秀ポスター賞に選ばれるための必要事項等がわからなかった

質問13. 年会の特別企画について、良かったと思うもの <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	記述なし

質問14. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナーについて（要望・その他）

回答者 番号	要望・その他記述
※	チケットを配る時間が早かったため、希望のセミナーのチケットが受け取れなかった

質問15. 本年会の規模について（その他）

回答者 番号	その他記述
※	演題の数が多く、興味のあるものを全て見るできない。口頭発表のスライドを後日公開などできないか検討してほしい。

質問16. 本年の開催形式(単独開催)について (その他)

回答者 番号	その他記述
※	昨年は生化学会との合同開催のため、人も多くより多くの議論を広げることができ、興味深い発表もたくさんあった。去年の方が充実した学会だったと感じたので、合同大会もいいのでは。
※	合同開催では、様々な知識が得られる一方、規模が大きすぎて把握しきれないため、単独開催はありがたかった。可能ならば、通勤・通学時間と重ならないような時間に開始してほしい。

質問17. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (合同開催が可能な学会にはどのような学会がありますか)

回答者 番号	合同開催が可能な学会にはどのような学会がありますか記述
※	日本細胞生物学会、日本神経科学会、日本発生生物学会

質問17. 今後の年会の開催形式について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	記述なし

質問18. その他、年会全般についてのご意見

回答者 番号	意見記述
※	ビールが飲めたのはよかった。今後も続けてほしい
※	Late-braking abstractsで登録したのですが、ポスター掲示の際、掲示板の照明が当たる側が空いているにも関わらず、その裏側の非常に暗くて人もほとんど通らない場所にしか掲示出来なかったことに対して強い不満を覚えました。そこにしかポスター掲示が出来なかった理由は何かあったのでしょうか？
※	今回、早くに発表が終わったのがよかったと思います。
※	二日目に英語のセッションが集中しすぎていた気がする。午後に1セッションしか聞けず、物足りない。ポスター会場でのビールの配布はいらない。経費の無駄である。あの会場に、ビールをもらうための列の存在が邪魔であり、そもそも場にそぐわない。また、アルコールを飲まない人への配慮にも欠ける。
※	特になし
※	今年はワークショップがなく、見たい発表が被ることが少なかったのもそれはそれでよかったが、一般からの口頭発表採択はもっとあった方がよいと思った。シンポジウムの一般採択も実質内部で決まるような印象を受けたし、そこでなされる議論も、内輪感がぬぐえないところもあった。(シンポジウムのテーマがやや狭すぎる場所もあったのが原因?) 例年の採択数までは無くてよいので、ワークショップの復活、というか、もっと広く自由に議論できる場があればよいなと思った。
※	入会受け付けしてくれた方がお酒臭くてあせった
※	基礎研究の楽しさを純粋に再認識でき、また口頭発表・ポスター発表ではたくさんの方が自分の研究に興味を持ってくださることを実感できモチベーションも上げることができとても有意義な時間でした。ありがとうございました。
※	人気のあるセッションでは座席が足りず、大勢の人が立って聞いていたので、そういったセッションでは大きな部屋で実施すべきと思いました。
※	3日目に行われた〇〇〇先生のキャリアパスランチョンセミナーは、非常に熱い話を聞くことができよかったです。もっと多くの方々に聞いていただきたいセミナーでした。
※	自分のポスター発表と時間が重なっているポスターを見ることができなかったのも、交代制だとよかった。